

第1回八千代町公共交通会議 議事録要旨

日 時：令和元年7月2日（火） 14：00～15：45

場 所：八千代町役場 本庁舎4階 大会議室

出席委員：22名

上野委員（会長）、小島委員（副会長）、鈴木委員（副会長）、中山委員、廣瀬（賢）委員、新井委員、諏訪（善）委員、秋葉委員、皆川委員（代理：高見専門官）、久保田委員（代理：酒井副参事）、白戸委員（代理：浅野係長）、大滝委員（代理：井川係長）、廣瀬（秀）委員、沢木（健）委員、沢木（民）委員（代理：小島部長）、青木（幹）委員、古宇田委員、中村委員、塚原委員、加藤委員、諏訪（洋）委員、青木（良）委員

欠席委員：5名

須澤委員、山下委員、澤畠委員、鬼澤委員、坂委員

オブザーバー：2名

筑波大学生 榎本氏、県交通政策課 松田主事

事務局：3名

八千代町まちづくり推進課 馬場、斉藤、沢木

次 第：

1 開会

2 あいさつ

3 新委員紹介

4 議事

(1) 平成30年度実績報告及び収支決算の承認について・・・資料1

(2) 令和元年度事業計画（案）について・・・・・・・・・・資料2

(3) 令和元年度収支予算（案）について・・・・・・・・・・資料3

(4) 八千代町公共交通再編案について・・・・・・・・・・資料4

5 その他

6 閉会

【会議内容】

開 会

あいさつ

〔上野会長より、令和元年度第1回会議にあたっての挨拶〕

新委員紹介

〔事務局より、3名の新委員の紹介〕

【新委員】

関東運輸局茨城運輸支局 首席運輸企画専門官（企画調整） 山下 明 委員

茨城県常総工事事務所所長 白戸 元文 委員

八千代町副町長 古宇田 信一 委員

議事（1）平成30年度実績報告及び収支決算の承認について

〔事務局より資料1に基づき説明〕

〔監事より監査報告〕

【質疑・意見等】

委 員：事業費の中で調査研究委託費とありますが、委託した結果の成果品はできているのでしょうか。

事 務 局：昨年度につきましては、(株)KCSに住民ニーズ調査の委託を行いまして、その成果品は頂いています。

委 員：その成果品については、この会議でも報告はされているのでしょうか。

事 務 局：会議では、第2回会議時にニーズ調査の結果について、ご報告しています。最終的には委託業者より冊子になったものを頂いています。

委 員：わかりました。ありがとうございました。

会 長：それでは（1）平成30年度実績報告及び収支決算の承認について、原案どおり承認することで異議はありませんか。

〔異議なし〕

会 長：異議なしの声がありましたので、（1）平成30年度実績報告及び収支決算の承認については原案のとおり承認されました。

議事（2）令和元年度事業計画（案）について

議事（3）令和元年度収支予算（案）について

〔事務局より資料2、3に基づき説明〕

【質疑・意見等なし】

会 長：それでは、「(2) 令和元年度事業計画 (案)」及び「(3) 令和元年度収支予算 (案)」につきまして、原案どおり決定することにご異議ありませんか。

〔異議なし〕

会 長：異議なしの声がありましたので、「(2) 令和元年度事業計画 (案)」及び「(3) 令和元年度収支予算 (案)」につきましては、原案のとおり決定されました。

議事 (4) 八千代町公共交通再編案について

〔事務局より資料4について説明〕

【質疑・意見等】

委 員：デマンド交通について、運賃が300円になっていますが、例えば病院まで行き、終わってからまた帰るといった往復で利用する場合に、倍の金額(600円)になるということでしょうか。また、目的の用事が済んでから帰る場合の予約や、休日明けの平日に利用をしたい場合には、いつまでに予約を行う必要があるでしょうか。

それと要望を言ったらきりがないのですが、コミュニティバスの路線について、この全ルートを見た中で広域農道(グリーンライン)の西側にも、停留所があるとよいのかなと思います。例えば、水口の札野とか、平塚本田の団地付近、北に行ってひかり幼稚園付近、ここには団地があり、病院等への移動手段を持たない方が多いと思いますので、その周辺には停留所設置の必要性があると感じられます。

事 務 局：ご質問に対してお答えいたします。まずデマンド交通につきまして、今事務局としては片道で300円かかり、往復で倍の600円になるという風に考えています。また帰りの予約ですが、帰りの予約も事前の予約制を考えています。

委 員：それは、現地に行ったときに話をするのか、それとも行きの予約時に頼んでおくのでしょうか。

事 務 局：事務局としましては、行きの予約時に帰りの予約もして頂ければスムーズに行くのかなという風に考えていますが、そこについては状況に応じて検討していかなければならないと思います。それと休日明けの運行の予約ということですが、午前中の便であれば休日前(平日)、月曜日であれば金曜日の午後までに予約をして頂くという風に考えています。

委 員：休日の前ということですが、例えば大型連休のゴールデンウィーク、正月、暮れ正月等はどうなるのでしょうか。

事 務 局：大型連休につきましては、オペレーターの出勤体系にもよるかと思いますが、今後煮詰めていきたいと考えています。

それとコミュニティバスのルートにつきましては、提案ということで、この3ルートを作成

しましたが、要望等に応じて見直しをしていかななくてはならないと十分に理解していますので、実証運行等の中で必要性に応じて、見直しをさせて頂きたいと考えています。

委員：デマンド交通について、町外の系統は考えているのでしょうか（例えば、下妻、古河、境方面）。全国でも最近よく問題になっている高齢者の事故や、免許証返納者の増加が見込まれますので、そういうことも考えて検討頂きたいと思います。

事務局：近隣市町村への乗り入れということですが、まずは町内の整備を進めさせて頂いて、その後近隣市町村へ、コミュニティバスもしくはデマンド交通のどちらの交通システムで行うかということも含めまして、この公共交通会議の中でご協議させて頂ければと思います。

委員：今事務局の3点の再編案の説明を聞いた中で、ドアツードアのデマンド交通が予約制で無駄がないので一番いいと感じました。

委員：質問をさせていただきます。資料4の4ページ、有償コミュニティバスの件ですが、④運行方法の下から2番目、乗車券を事前購入してもらうと記載してあり、販売場所は役場及び交通事業者になっていますが、これは例えば突然雨が降ってきて、コミュニティバスを見かけたので、その場で乗りたいと思った場合は、事前に購入した乗車券がないとコミュニティバスに乗れないということでしょうか。

事務局：販売場所の交通事業者につきましては、バスの中でも買えるイメージで記載させて頂きました。

委員：乗車券は10枚綴り千円となっていますが、基本的には千円払わないと乗車できないということでしょうか。

事務局：100円(1枚)の乗車券も購入可能で考えています。

委員：ただいま委員の方々から要望がありましたけれども、それを全部聞きますと、車の台数は恐らく4台から5台が必要になると考えています。例えば近隣市町村への乗り入れをした場合には、2台、3台ではとてもじゃないが間に合わないと思います。町内だけでも、提案された台数の2台では少し難しい部分もあると感じています。ただ、やってみないとわからない部分もありますし、始めたからには、簡単に辞めるといふ風にはいかないので、今後も十分に検討する必要があると思います。

委員：ただいま委員が言ったように、本当に全ての意見を満足に運行するには、恐らくこの提案内容では難しいと感じています。なので、今回の提案をたたき台にしてみてもっともっと検討調整し、八千代町の地域にあった交通システムを考えていけたらいいのではないかと思います。

委員：コミュニティバスはともかく、デマンド型でも行先によっては帰りを予約するのは、難しい

と思います。帰りの時間が読めない場合も多くあるので、予約システムの内容については、十分に検討する必要があると考えています。

委員：コミュニティバスの経路図ですが、アンケート等または高齢者のいる地域等も加味し、研究されたかと思いますが、先ほど発言がありましたように、行けていない地域というものもあるので、そういう高齢者がいるところを乗る、乗らないは別にして回るような経路で往復路線が無いように経路図ができないものかと考えています。また、高齢者の中には外のバス停まで出てくるのが少し大変というような人もいますので、そういうところをもう一度見直し、検討頂ければと思います。

会長：それでは、「八千代町公共交通再編案」につきまして、委員の皆様から意見を一人ずつお願いしたいと思います。

委員：本当に難しいところがあるということがお分かりではございますが、できればこの提案された3案の中から、絞り込んでいくような形がよろしいかなと感じています。

委員：路線の無駄、時間の無駄を考えるとデマンド型が一番効率的なのかなという気がします。また先々、皆様の意見を聞きながら、いろいろと検討していきたいと考えています。

委員：デマンド型がいいと考えています。しかし料金、範囲等のいろいろな問題点がありますので、そこをもっと煮詰めて行けたらいいと思います。

委員：デマンド交通がいいように思いますが、高齢者の中には予約をするのが大変だと言っている人もいます。行きの予約は前日でもいいですが、帰りの予約は事前予約では大変だと思います。例えば、行きの利用時に運転手の方に「何時頃に迎えに来てください」という方法ができるのであれば、それが一番いいと考えています。それでも、300円程度で町内の病院や買い物に行けるといいことだと感じています。

委員：せっかくの実証運行ということなので、実証運行を行うのであれば、道路運送法の上の手続きであっても大変簡易な手続きで、期間限定の運行ということも実施できますので、思い切っているいろいろ試してみるのもいいのではないかなと考えています。実証運行を行うのであれば、どういうデータをとるかが重要になるので、事前にしっかり煮詰めていき、どういう必要があるのか、実際に運行してみてどういう需要があったのか、ということをしっかりくみ取れるようなやり方をして頂ければと思います。

委員：八千代町の新しい交通システムとしては、デマンド交通、コミュニティバスのどちらにせよ、その地域の人口がどの様に分布しているのか、あるいはどういったニーズがあり、どこに住んでいる人がどういうところへ行きたいか、といった行先等のニーズによって、デマンドがいいのか、コミュニティバスがいいのか、ということになると考えています。例えば、人口がある程度まとまっている地域がいくつかあって、そこを結んで目的の場所に行けるのであ

れば、定時定路線の方が適しているように感じますし、あるいは人口分布がバラバラな場合にはデマンド交通がいいというように思います。よくその地域の実情をいろいろ勘案して、アンケートも行い、どちらがいいのか、というのをよく検討して頂ければいいかなと考えています。あと有償無償の話ですが、無償というとなかなか今の持続可能な交通システムのことを考えると、無償というのはどうなのかなと思いますし、有償であればいろいろな手法で利用促進を行い、利用者を増やせば増やすほど収入が上がり、それなりに利用促進の努力の結果が形に見えるという部分もありますので、あまり無償というのは好ましくないのかなといった印象を持っています。

委員：オンデマンド方式が無駄なくよろしいかと思えます。有償無償に関わらずコミュニティバスでは、バス停を設置するということになりますので、バス停の移動を考えた際に、それを一度設置し、動かすとなるというのはなかなか大変なものがあるかなと考えています。仮に路面標示方式としてつけてしまう場合でも、それを別の場所へ動かすとなると剥がしてそれを再利用できるのかという話もあると思えますので、オンデマンド方式であればそういったものはないのかなと感じています。

委員：運転免許証を自主返納した場合に発行される、運転経歴証明書をお持ちの方に対して、料金の優遇があると、自主返納制度の推進にも繋がるかと思えますし、公共交通の利用も増える要因のひとつになるのかなと考えています。

委員：3案の中ではデマンド交通が望ましいと考えています。その理由は、これからますます少子高齢化が進展し、高齢者の日常生活の足の確保と運転免許返納の増加が予想される中で、通院や買い物等、日常生活の利用の利便性と八千代町の地域性、集落散在型であること、集落内の道路の狭隘さを考えますと、機能性を持っているデマンド交通が望ましいと感じています。昨年度11月に視察研修として栃木県芳賀町を視察いたしましたけれども、その折も商業施設や医療施設が利用の大半を占めていること、また統計上利用者の8割以上が女性、年齢別で見えますと70歳以上の利用が全体の約8割、とりわけ80歳以上の利用が約5割と聞いています。芳賀町でも八千代町同様路線バスとタクシーは確保されているものの、公共交通の空白地帯は存在し、しかも自動車の依存性が高いということでもあります。もちろん、本田技研関係の大きな工業団地を持ちます芳賀町と八千代町とでは、財政力に大きな差がありますが、その旨には十分精査、検討をしていかなければなりません。通院や買物の利用として自宅から拠点施設、拠点施設から自宅へとその利便性を考慮しますと、ある程度の自己負担もやむを得ないのではないかと思いますし、自己負担につきましても近隣市町村並みにおさえたものであれば、利用者の理解も得られるのではないかなと考えています。

委員：この3案では、公共交通の主な対象者が高齢者という想定がされており、普通のコミュニティバスですと、停留所まで行くのに行けないという方が多いと予想されますので、ドアツードアで利用できる、デマンドが一番いいのかなと考えています。ただし、他の委員の方からのご意見にもありましたように、車両の問題や予約の問題、いろいろクリアしていかなければいけない問題が多々あると思えます。それでも、最初から全てを網羅した公共交通はでき

ないと思いますので、実証実験を重ねまして町民の皆様から理解得られるような、公共交通体系を作成していければなという風に考えています。

委員：再編案②のデマンド交通がいいのではと考えています。ただ運用方法につきましては、今後さらにこの会議の中で検討していく必要があるのかなと思います。また、この公共交通を考えた時に、支援の対象というのを絞って考えていく必要があるのかなと思いますし、予算が限定されている中で、支援対象としては、車の運転ができない高齢者でありますとか、障がい者や妊婦の方とか、そういった方々を想定しなくてはいけないのかなと考えています。コミュニティバスですと、そういう方々に停留所まで出てきて頂いて、帰りも停留所まで行って帰ってくるというのは少し酷なのかなという感じがしています。特に買い物に行きますと帰りは荷物が多くなりますので、私は自宅まで送り迎えをするデマンド交通をベースに仕組みづくりを考えていったらいいのかなと思います。そういった仕組みができれば、免許証の返納も進んでいくのかなという風に考えています。

委員：八千代町の特性として、やはり車がないとどうしても移動ができないですし、最近の高齢者の交通事故等もあり、いつまでも運転ができるわけではありませんので、どうしてもその高齢者の足の確保というのは、必要不可欠なことだと思います。八千代町はたしか二十何年くらい前に巡回バスを走らせたことがありましたが、その時にもあまり利用者はいなかったという経過があったのではないかと思います。現在の検討の中で3方式が挙がっていますが、この中から選ぶとすればやはり皆様の声にありますとおり、高齢者の方はバス停まで行くのが大変ですし、さらにバス停から家まで帰るのも大変だということも考えられますので、ドアツードア方式のデマンド交通がこの中ではベストではないかと思っています。ただし、先ほどから意見もありましたけれども、予約の問題とか、いろいろ検討課題が多々あるかと思いますが、とりあえずやってみないと問題点も出てこないですし、住民の要望も把握できないかと思っていますので、とりあえず実証運行を行ってみる必要があるのではないかと考えています。それから、基本的なことですが、資料の中で3方式の経費等が示されていますが、実際に委託する交通事業者が果たして受けてくれるのかという部分が心配ですので、そこもしっかりと確認をしておいて頂いた方がいいのではないかと思います。

委員：先ほどからデマンドがいいという委員の方々の意見が随分ありますけれども、私も確かにデマンドで検討していくのがいいと思います。いろいろ集約しても初めから100%のことはできないですので、60%位のことを集約できるような形で初めは実施し、その結果を踏まえて随時検討していくのが望ましいと考えています。

委員：高齢者の免許返納を促進する前に公共交通の整備を先にやるべきだと思います。コミュニティバスにつきましては、今の医療巡回バスを見ていると全く機能していないのがよく分かりますので、これは恐らくデマンド型しかできないだろうというのは明らかだと思います。

委員：やっぱり無駄のないようにした方が一番いいと思います。町の税金を使って運行するわけですから、現在の医療巡回バスは、本当に空車が目立っていると感じています。なるべく無駄

のないように、運行できる形態を選ぶとすれば、デマンドが一番かなと考えています。その中で、ある程度集中する時間帯が想定されますので、その時間帯の台数をどうやってこなすのか、また予約方法も課題になると考えています。そこについてもよく検討して頂ければと思います。

委員：3つの編成案ですが、どれも長所短所があると思います。皆様デマンド交通の方をいいのではないかと、とういこととお話していたと思いますが、やはり利用される方が高齢者メインだということもありますので、予約システムの使用法等を利用者に寄り添うような形でシステムを作っていき、うまく始めていけば、少しでもより良い公共交通になるのではないかと考えています。

委員：デマンド交通の課題としては、一人のお客さんを迎えに行くのにもかなりの時間がかかることが想定されます。高齢者の方は、財布や薬等の忘れ物をしたので待つてほしいということや、買い物に行った際に、荷物が多くなってしまったので待つてほしい、というようなことが考えられますので、時間を決めて拠点施設へ迎えに行くといった、拠点施設に停留所を作り「何時にここにいますよ」というようなやり方でないと、なかなかうまく巡回ができないのではないかと考えています。そういったこともこれからまた検討して頂き、進めていきたいと思っています。

委員：話を聞いていた中で、デマンド交通が一番ベターかなと思います。ただ、その中で少し考えなければならないのは、初期経費等の見込みが少し甘くないかなと感じています。例えば、2台で始めるといっても必ず車検があり、車両の故障等もありますので、必ず予備車が必要になってくると考えています。例えばこれを事業者に委託した場合に、乗用車についてはタクシー1台でなんとかギリギリ賄えるかと思うのですが、ワゴン車等の場合は1台購入したからそれで間に合わせるというのは、恐らく無理だと思いますので、そういったもっと生々しい話も含めまして、見込み等も考えていかないとデマンドの運行も難しいと思います。また、無償有償等のコミュニティバスについてですが、恐らく1年のうちに使われないバス停が出てくると思いますし、道路管理者等への申請等もかなりの準備が必要でかなりの手間暇がかかりますので、軽々にこれはできないかなという部分も含めて考えて頂ければと思います。

委員：今回の公共交通は、やはり高齢者を対象とした事業ではないかと私は思います。なかなか今は、年配者になってきますと若い人が乗せていってくれたりといったことが難しい方も多くいますし、そういった何かをやるにしても一人ではできないという方々のための交通システムが必要かなという風に考えています。今回出た皆様の意見を事務局で再度検討し、次回会議に向けて、まとめて頂ければと思いますので、一言お願いを申し上げます。

委員：恐らく提案頂いた経費では済まないと思います。八千代町は人口規模が大きいので、それほど大掛かりなシステムは無くてもいいのではないかと考える方もいらっしゃると思いますが、実は人口が半分だからといって車両が半分で済むわけにはいかないです。なので、

実際に運行するためにはある程度の余裕が必要になります。その余裕がないと回らないので、これ以上に経費は増えると考えています。その経費が増えた時に、それでもやるといた合意ができるのか、というところが多分次回のポイントなるのではないかと思います。今後事業者の方のお知恵をもちろん頂かなければならないですし、ユーザーの皆様のご意見を伺うということも正直しなければならぬと思います。ただそれでも、先ほど薬を忘れた等のお話がありましたけれども、それによって、予定通り運行できないということもよくあります。しかし、それは余裕があれば、そこでしっかりと吸収できますが、そういうシステムができないと回らないということになりますので、これからそこもしっかりと踏まえて意思決定をしなければならぬと考えています。

会 長：ありがとうございました。只今頂きました意見を事務局でまとめまして、第2回公共交通会議において、新しい公共交通の方向性を決定したいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔異議なし〕

会 長：異議なしの声がありましたので、第2回公共交通会議において、新しい公共交通の方向性を決定したいと思います。

議事（4）その他

事務局：皆様にお配りをしています、八千代町公共交通会議のファイルですが、2冊目をご用意させて頂きました。帰りの際にお持ち頂けたらと思います。よろしくお願ひします。以上です。

閉 会